

令和4年1月25日

京丹後市役所

お知らせ

米陸軍第38防空砲兵旅団長 マシュー・W・ダルトン大佐から 中山京丹後市長への書簡の受領について

標記については、令和4年1月5日付けで中山京丹後市長からロバート W.エリオット米陸軍経ヶ岬通信所司令官に対して「米軍経ヶ岬通信所における新型コロナ対策の徹底についてー緊急要請ー」を要請したことを受け、米陸軍第38防空砲兵旅団長から中山市長宛てに令和4年1月18日付け返信書簡を受領しましたので、ご報告します。

記

○受領日 令和4年1月20日（木）

○発出元 米陸軍第38防空砲兵旅団長 マシュー・W・ダルトン大佐

○書簡の要旨

- ・京丹後市周辺においても感染者が増加する中、基地関係者へ支援を受けていることへの感謝。
- ・「簡易検査キット」を使用し、丹後保健所の協力も得ながら、地域の方との接触を避けるとともに、第14ミサイル防衛中隊長ロバート・エリオット少佐と部下らは、新型コロナウイルスの影響を軽減するよう最大限予防に努めてきたこと。
- ・今回発生した陽性者が、いずれも軽症或いは無症状に留まっているのは、ワクチン接種の有効性を示すものだと考えていること。
- ・1月10日16時30分から当初1月24日まで、（このたびの在日米軍/在日米陸軍による延長で1月31日まで）の間は行動制限が行われ、在日米軍施設・区域外における行動は必要不可欠な行動のみ許可されること。
- ・食料品の購入や医療機関への通院等の不可欠な当該施設・区域外の活動については許可される一方、モールでの買い物、バーの利用や屋内での飲食、余暇としての旅行等は禁止されること。
- ・ワクチン接種の有無にかかわらず、全員がマスクの着用を施設・区域内外の場所を問わず義務付けていること。
- ・この期間が終わる際には在日米陸軍の全体的な健康保護分析を再度行い、周辺コミュニティの方々の最大限の安全の確保のため、どのような対策を継続するかを判断する予定であること。

以上

令和4年1月5日

在日米陸軍司令官、米国陸軍少将
ジョエル B.ヴァウル 様
米軍経ヶ岬通信所司令官
ロバート W.エリオット 様

京丹後市長 中山 泰

米軍経ヶ岬通信所における新型コロナ対策の徹底について－緊急要請－

日ごろは、京丹後市の安全・安心のまちづくりにご理解とご協力をいただき、感謝を申し上げます。

本日、京丹後市に所在する米軍経ヶ岬通信所に勤務される米軍関係者2名の陽性確認者が発生された旨、京都府からご連絡を受けました。

まずは感染者の一日も早い健康回復を祈念いたしますとともに、この間、同基地所属の米軍関係者に対する感染防止対策の徹底につき、一昨年来、継続して精力的で適切な対応に尽くしていただいていること、累次の安全・安心連絡会等様々な場を通じて確認をさせていただいており、この間のお取り組み、ご協力に心より感謝をいたします。

一方で、今般、沖縄など全国の米軍基地において陽性確認者が増加している状況等の中で、改めて、本市として、貴基地内外への感染拡大に対する懸念や不安を払拭し、本市住民、関係者への感染拡大防止を徹底し、これを万全に行うことが、極めて重要で不可欠です。

このため、貴職に対し、下記事項の実現を強く要請し、速やかな対応を求めます。

なお、本日、防衛省近畿中部防衛局長に対し、同じく下記のとおり、防衛省の責任において米軍に要請、万全な実現を図ることを速やかに求める緊急要請を行っております。速やかな実現を重ねて強く求め、申し添えます。

記

- 1 日本側と同等・同様の万全な感染防止対策の徹底・その継続とともに、感染経路等の検証等も踏まえ、京都府保健当局との十分な情報共有、緊密な連携によるこれら対策の万全な徹底を、迅速かつ十全に実施すること。
- 2 他の米軍基地との間の感染拡大に係る厳密な防止措置・対策を含め、本市はじめ周辺の日本側地域への感染拡大防止の徹底のための必要な措置の実現を万全に図ること。

以上